

カナイワ プライド ほこ きずな えがお 令和7年度・『Kanaiwa Pride ~誇り・絆・笑顔~』金石中学校

令和7年12月1日(月)

12月 全校集会

～岡田幸子校長先生 のお話より～

今月、12月4日から10日まで「人権週間」があります。

今日は、それを意識してお話をしようと思います。

『顔を見てコミュニケーション』をとろう!

みなさん、『マイナス言葉』というのを聞いたことがあると思います。

『マイナス言葉』は、「嫌な言葉」「人にダメージを与える」言葉です。

それが、『プラス言葉』よりも何十倍も力が強い、と言われています。残念ながら……。

これは、子どもだけでなく大人も同じです。

突然ですが、やってほしいことがあります。お隣さん同士で、互いの良いところを順番に言い合ってください。

(スタート……止め～、前に向いてください。)

ステキな言葉が聞こえてきました。「明るい」って聞こえました。「やさしい」って聞こえました。

「頭いい」ってのも聞こえました。そう言っているみなさんは、本当にステキです。

で……、今、言葉交換したときに、うれしかったよね。嫌じゃないよね。

私もそうなんですけれども、今、みなさん、嫌な気持ちじゃなかったよね。

でもそれが、『マイナス言葉』……『悪口』『言われたくないイメージ言葉』とか、だと……。

最悪なことは、『ネット上に』載せる、これが最悪です。……本当に嫌なことです。

何を言いたいかというと、

『顔を見てのコミュニケーション』を大事にしていってほしい、ということです。

顔を見ているから悪いことを言ってもいい、ということを言っているのではありません。



一年で最も短い日



『顔を見て コミュニケーション』をとっていくと、

誤解していることがあっても「あっ、そうやったんや～、違うふうに私とつとつたー。」とか、

顔を見て「ごめんなさい」が言えます。

顔を見ると「本当に悪いと思ってくれてるんやー」と伝わってきて「私こそ、ごめん」って言えます。

もう一つ大事なことがあって、

「それ、嫌」ってはっきり言えることです。あいまい曖昧な嫌な気持ちじゃなくて、「それ、私は本当に嫌」と伝えることができます。

『顔を見てのコミュニケーション』だから、成り立つことです。

人間関係のトラブルを『乗り越えていく力』をつけてほしい。



中学校の3年間、思春期の真っ只中で、

今までいろんな人間関係のトラブルがありましたね。でも、それが当たり前なんです。

そして、それを乗り越える貴重な経験ができるのも『今』なんです。

絶対に『嫌なこと』は、これからも、大人になってもあります。避けて通れないものです。

みんな考え方が違うから、いろいろだから……。違ってもいいんですよ。

だから、そういうトラブルも『乗り越えていく力』をつけてほしいなと思います。

そのためには、やはり、『顔を見てのコミュニケーション』をぜひ、心がけてほしいと思います。

自分のまわりで、つら辛い思いをしている人はいませんか。自分の学級に『正義』はありますか。

ぜひ、『顔を見てのコミュニケーション』の“よさ”を知ってほしいと思います。